

## ▲ 昨年度の催し

昨年度は以下の3つの催しを行い、多くの方々にご参加いただきました。



### 10月5日 灯りのフェスティバル

本所地域では震災や戦災で犠牲になった多くの人々へ追悼の意を込め、北斎通りまちづくりの会は地域と連携して毎年秋にキャンドルライトアップイベントを行ってきました。大横川親水公園の噴水に数千個のガラス瓶および絵付けやカットした牛乳パック数百個の中にキャンドルを立て、みんなで明かりを灯すイベントです。



### 10月19日 北斎祭り

地域住民が葛飾北斎に親しみ、地域に誇りや愛着を持つことを目指して2006年より開催し、今年で14回目となりました。町会・子供会などの地域住民をはじめ小中学校や保育園など地域ぐるみの協力体制とし、地域の歴史や文化の再発見をテーマに様々な催しを行なっています。



### 11月30日 シンポジウム「景観まちづくりから地域コミュニティを考える」

当会の主要な活動である「建て替え調整協議会」が設立されて7年目を迎えました。既に行った47件の協議を経てまちづくりにもたらされたことを見直す機会としてシンポジウムを開催し、学生による当会のまちづくり活動の分析や報告、専門家による地域が抱える問題をテーマにした意見交換を行いました。

詳しくは当会ホームページ「<https://www.hokusai-dori.com>」をご覧ください  
(富岡達郎／北斎通りまちづくりの会)



## 亀沢町の北斎？

亀沢の皆さんに葛飾北斎を知っていますかと問いただければ、亀沢町で生まれたとか、亀沢町を貫く北斎通りで生まれたとすぐ答えてくださいます。北斎通りは江戸時代には割下水と呼ばれていましたから、割下水の生まれであると。ただ、亀沢町で生まれた・・・と言われると少し注意が必要です。

今でこそ亀沢町は清澄通り側から大横川親水公園へ向けて順に一丁目から四丁目まで整然と並んでいますが、実は北斎の生まれた時代にはこの地は一部にしか町名がありませんでした。三つ目通りより東側に三笠町、長岡町、長崎町があるだけでした。西側はというと、旗本や御家人と言った武士たちの家が建ち並んでいました。表札を出している訳ではないので、人々は絵図を買い求め絵図に書か

れた名前で見つけました。だから地域の名前はなかったのです。では、亀沢町はなかったのか。いえ、ありました。場所が違いました。現在の両国四丁目30番のライオン堂がある辺りと、33番の西の端34番の榛稲荷の東側のみの狭い地域でした。亀沢の由来は、現在の両国小学校の校舎の辺りから京葉道路まで2000m<sup>2</sup>余りの大池があり、大亀がいたことから付けられたと言います。北斎が生まれた頃は葦が茂るもの凄い池だったと「葛西志」に記されています。関東大震災後の市街地復興によって、亀沢町の辺りは東両国という新町名に組み入れられ、かわって現在地に亀沢町の名が付けられました。

(五味和之／前すみだ北斎美術館学芸員)

# 北斎通り まちづくりニュース



No. **33**

まちづくり活動情報誌  
発行●北斎通りまちづくりの会  
亀沢・北斎ネットHP <https://www.hokusai-dori.com/>

北斎通りまちづくりの会で一緒にまちづくり活動に参加しませんか？  
新メンバー募集中です。 連絡先：bureau@hokusai-dori.com

## ▲ 都市景観大賞（国土交通大臣賞）を受賞しました

良好な都市景観を育むため、互いに協力しあい工夫をこらした意欲的な実践に取り組む優れた活動に対して与えられる都市景観大賞という顕彰制度があります。北斎通りまちづくりの会の取り組む景観まちづくり活動が、令和二年度の大賞（国土交通大臣賞）を受賞しました。地域の皆さんとともに積み上げてきた活動を評価していただきました。ご報告とお礼を皆様に申し上げます。(岸成行／北斎通りまちづくりの会)

## ▲ 審査講評

本活動は2005年から始まり参加者が多彩で広がりや深まりがある。居住し商売する方々が積極的にまちを再発見し、新しい都市型コミュニティ

のかたちを探り、まちにシビックプライド（愛着と誇り）を育むという活動の枠組みはまさに本部門のねらいである。震災戦災により歴史的街並や建造物を失い、地域遺産というべき核になるものがない中で、普通の暮らしの中の生活景を育てあげる活動を通して「暮らしの物語」を紡ぎだしていくプロセスを重視し、成果を生み出している活動である。新たな集合住宅の建設が進み新住民の増えていく過程で、開発指導要綱や集合住宅条例によって「地域コミュニティとの共生」を担保し、地域の誇りをマルチステーク・プロセスとして住民のみならず企業、商店なども参画し、対話を重視して学び合い、さらに愛着を育む活動を静かな情熱で継続してきている。地域コミュニティへの参加促進と古くからの居住者との融合をめざして地域が有する専門性を活かし、さらに将来の地域の人口減少も視野に入れて、景観を切り口に住民の地域力を高める当事者性が高く評価された。(審査委員長：小澤紀美子東京学芸大学名誉教授)

## ▲ 亀沢地区建替え調整協議会からの報告

8年目を迎えた亀沢地区建替え調整協議会の活動ですが、昨年度（令和元年度）は7件の協議会を開催しました。これまでの協議会の開催は、52件となりました。協議会では事業者、地域住民、専門家が亀沢の町を見直し、景観、防災、コミュニティなどについて意見交換を行います。昨年度の協議会では、地域住民の要望により事業者が計画を見直し安全を考慮して屋上駐輪場を1階に配置替えをし、地階住戸も取りやめた事例もあります。

(岸成行／北斎通りまちづくりの会)

<令和元年度に開催した建替え調整協議一覧表>

52	(仮称) 墨田区亀沢1丁目計画 (亀沢1-21-未) (賃貸住戸43戸 2020年01月24日開催)
51	(仮称) 墨田区亀沢1丁目計画新築工事 (亀沢1-5-未) (賃貸住戸35戸 2019年12月04日開催)
50	(仮称) ジェーユー・ジャパンマンション新築工事 (亀沢4-11-未) (店舗+賃貸住戸36戸 2019年11月28日開催)
49	(仮称) 墨田区亀沢四丁目計画新築工事 (亀沢4-15-未) (賃貸住戸56戸 2019年11月20日開催)
48	(仮称) 墨田区亀沢3丁目マンション新築工事 (亀沢3-18-未) (賃貸住戸24戸 2019年10月03日開催)
47	(仮称) プレミアムキューブ両国デュークス新築工事 (亀沢4-25-未) (賃貸住戸55戸 2019年09月27日開催)
46	(仮称) 墨田区亀沢3丁目マンション新築工事 (亀沢3-27-未) (店舗+賃貸住宅18戸 2019年05月20日開催)

# 江川太郎左衛門を知っていますか

## 亀沢の歴史をひも解くと見えてくる

## 日本の近代工業化は「すみだ亀沢」から

葛飾北斎（1760年生まれ、1849年没）が、亀沢で沢山の絵を描いていた頃、西洋は大量製鉄や蒸気機関の発明によるエネルギー革命、大規模工場生産が始まった産業革命と呼ばれる時代でした。

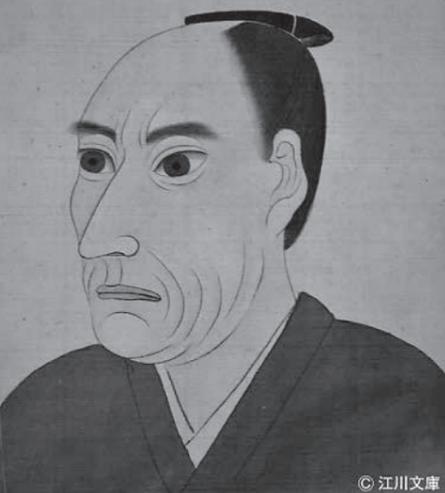
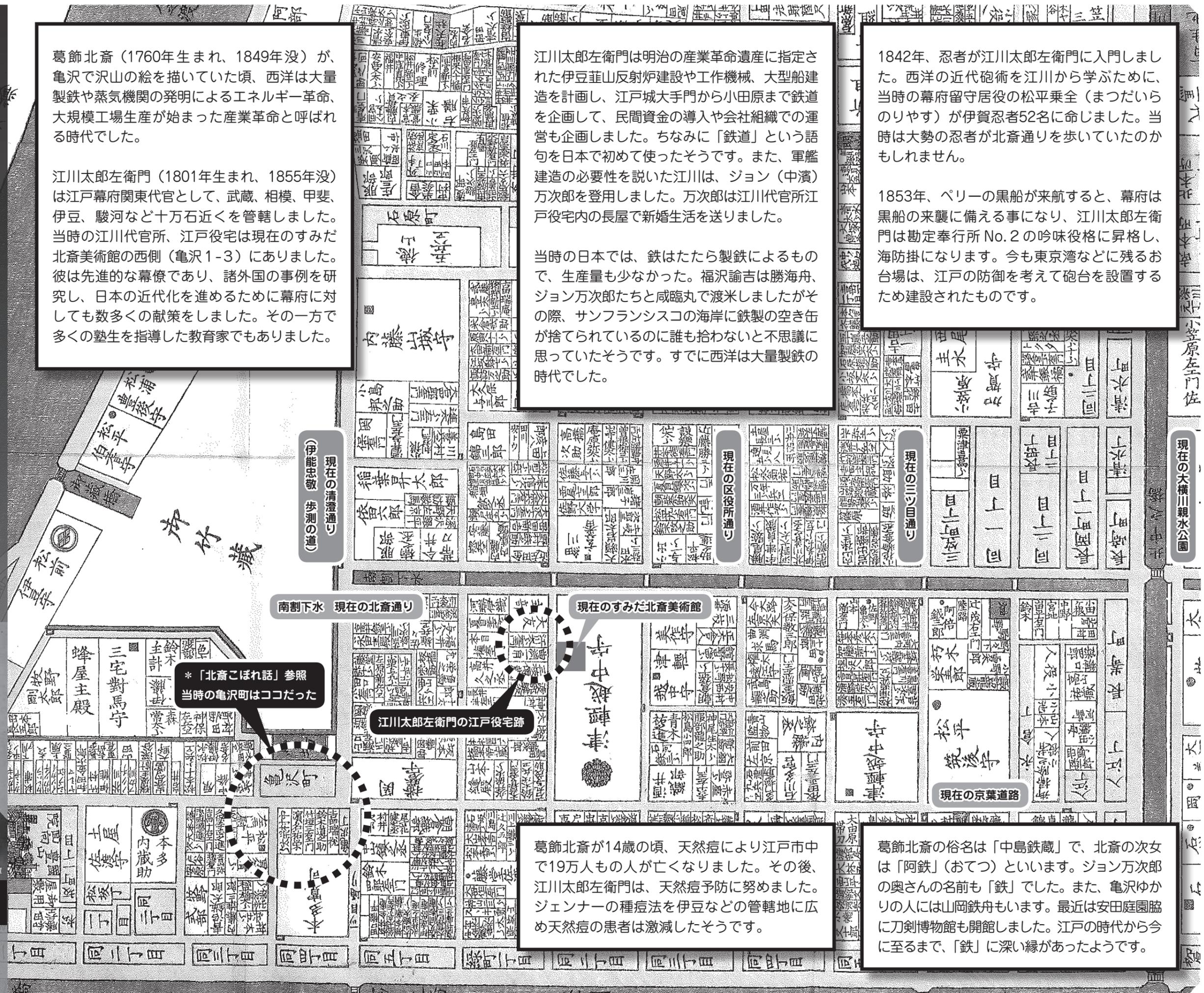
江川太郎左衛門（1801年生まれ、1855年没）は江戸幕府関東代官として、武蔵、相模、甲斐、伊豆、駿河など十萬石近くを管轄しました。当時の江川代官所、江戸役宅は現在のすみだ北斎美術館の西側（亀沢1-3）にありました。彼は先進的な幕僚であり、諸外国の事例を研究し、日本の近代化を進めるために幕府に対しても数多くの献策をしました。その一方で多くの塾生を指導した教育家でもありました。

江川太郎左衛門は明治の産業革命遺産に指定された伊豆葎山反射炉建設や工作機械、大型船建造を計画し、江戸城大手門から小田原まで鉄道を企画して、民間資金の導入や会社組織での運営も企画しました。ちなみに「鉄道」という語句を日本で初めて使ったそうです。また、軍艦建造の必要性を説いた江川は、ジョン（中濱）万次郎を登用しました。万次郎は江川代官所江戸役宅内の長屋で新婚生活を送りました。

当時の日本では、鉄はたたら製鉄によるもので、生産量も少なかった。福沢諭吉は勝海舟、ジョン万次郎たちと咸臨丸で渡米しましたがその際、サンフランシスコの海岸に鉄製の空き缶が捨てられているのに誰も拾わないと不思議に思っていたそうです。すでに西洋は大量製鉄の時代でした。

1842年、忍者が江川太郎左衛門に入門しました。西洋の近代砲術を江川から学ぶために、当時の幕府留守居役の松平乗全（まつだいらのりやす）が伊賀忍者52名に命じました。当時は大勢の忍者が北斎通りを歩いていたのかもしれませんが。

1853年、ペリーの黒船が来航すると、幕府は黒船の来襲に備える事になり、江川太郎左衛門は勘定奉行所 No. 2 の吟味役格に昇格し、海防掛になります。今も東京湾などに残るお台場は、江戸の防御を考えて砲台を設置するため建設されたものです。



江川太郎左衛門自画像 (1801-1855)

© 江川文庫

\*「北斎こぼれ話」参照  
当時の亀沢町はココだった

葛飾北斎が14歳の頃、天然痘により江戸市中で19万人もの人が亡くなりました。その後、江川太郎左衛門は、天然痘予防に努めました。ジェンナーの種痘法を伊豆などの管轄地に広め天然痘の患者は激減したそうです。

葛飾北斎の俗名は「中島鉄蔵」で、北斎の次女は「阿鉄」（おてつ）といいます。ジョン万次郎の奥さんの名前も「鉄」でした。また、亀沢ゆかりの人には山岡鉄舟もいます。最近安田庭園脇に刀剣博物館も開館しました。江戸の時代から今に至るまで、「鉄」に深い縁があったようです。

小笠原左門佐

現在の大横川親水公園

大

大

大

大